

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-259360

(43)Date of publication of application : 03.10.1997

(51)Int.Cl.

G07G 1/12

(21)Application number : 08-063404

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 19.03.1996

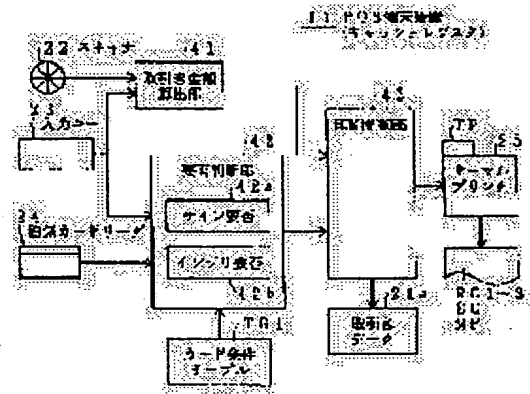
(72)Inventor : WATANABE MASAKAZU

## (54) METHOD FOR ISSUING SLIP FOR IMPRINT AND POS SYSTEM

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To issue a slip for an imprint for a credit card without providing the slip dedicated to the card, to simplify a registration job and to save business expenses.

**SOLUTION:** A cash register 11 provided with a transaction money amount calculation part 41 for calculating the transaction money amount of a product and a thermal printer 25 for printing the receipt RC of a money amount corresponding to the transaction money amount on thermosensitive paper TP is used. In the case that the money amount corresponding to the transaction money amount is transacted by the credit card, a format for the imprint of the credit card is printed on the thermosensitive paper TP by the thermal printer 25 and the slip for the imprint is issued by using the printed thermosensitive paper TP.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 04.06.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3180020

[Date of registration] 13.04.2001

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-259360

(43) 公開日 平成9年(1997)10月3日

(51) IntCl. <sup>9</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 G 1/12	3 5 1		G 0 7 G 1/12	3 5 1 Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平8-63404

(22) 出願日 平成8年(1996)3月19日

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 渡邊 昌和

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地  
富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 久保 幸雄

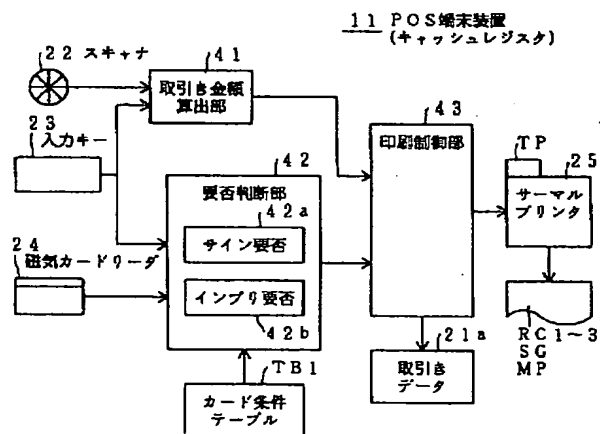
(54) 【発明の名称】 インプリント用伝票の発行方法及びPOSシステム

(57) 【要約】

【課題】 カード専用伝票を備えることなくクレジットカードのためのインプリント用伝票を発行することを可能とし、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることを目的とする。

【解決手段】 商品の取引金額を算出する取引金額算出部41と、取引金額に対応する金額のレシートRCを感熱紙TPに印刷するサーマルプリンタ25とを備えたキャッシュレジスタ11を用い、取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引される場合に、クレジットカードのインプリントのためのフォーマットMPをサーマルプリンタ25によって感熱紙TPに印刷し、印刷された感熱紙TPを用いてインプリント用伝票を発行する。

POS端末装置の処理内容を機能的に示すブロック図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】商品の取引金額を算出する取引金額算出手段と、前記取引金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを用い、

前記取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引される場合に、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって感熱紙に印刷し、印刷された感熱紙を用いてインプリント用伝票を発行する、

ことを特徴とするインプリント用伝票の発行方法。

【請求項2】商品の取引金額を算出する取引金額算出手段と、前記取引金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタであって、

前記取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引されることを指示するクレジットカード取引指示手段と、

前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって前記感熱紙に印刷するための印刷制御手段と、

を有してなることを特徴とするキャッシュレジスタ。

【請求項3】商品の取引金額を算出する取引金額算出手段と、前記取引金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを含んで構成されるPOSシステムであって、

前記取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引されることを指示するクレジットカード取引指示手段と、

前記クレジットカードによる取引に際してのインプリントの可否の条件を含むカード取引条件を格納したカード取引条件格納手段と、

前記カード取引条件を参照して前記インプリントの可否を判断するインプリント可否判断手段と、

前記インプリントが要であると判断された場合に、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって前記感熱紙に印刷するための印刷制御手段と、

を有してなることを特徴とするPOSシステム。

【請求項4】商品の取引金額を算出する取引金額算出手段と、前記取引金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを含んで構成されるPOSシステムであって、

前記取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引されることを指示するクレジットカード取引指示手段と、

前記クレジットカードによる取引に際してのサインの可否の条件及びインプリントの可否の条件を含むカード

取引条件を格納したカード取引条件格納手段と、

前記カード取引条件を参照して前記サインの可否を判断するサイン可否判断手段と、

前記カード取引条件を参照して前記インプリントの可否を判断するインプリント可否判断手段と、

前記サイン及び前記インプリントが否であると判断された場合には前記レシートを、前記サインが要であり且つ前記インプリントが否であると判断された場合には前記レシートと前記サインのためのフォーマットとを、前記

インプリントが要であると判断された場合には前記レシートと前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットとを、それぞれ前記サーマルプリンタによって前記感熱紙に印刷するための制御を行う印刷制御手段と、

を有してなることを特徴とするPOSシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、百貨店、スーパーマーケット、チェーンストア、小売店などにおいて利用されるインプリント用伝票の発行方法、キャッシュレジスタ、及びPOSシステムに関する。

【0002】近年において、クレジットカードの普及が目覚ましい。クレジットカードには、信販系、銀行系などのように一般的に通用する汎用カードと、発行会社のみで通用する自社カードとがあり、その発行会社による種類は極めて多数に上っている。クレジットカードの内容を確認した使用間違いや不正使用などを防ぐために、クレジットカードの利用者である顧客にサインを求め、またクレジットカードに刻まれているエンボスをインプリントすることが行われている。

【0003】しかし、サインをし又はインプリントを行う作業は、顧客及び店舗にとって煩わしいものであり、そのための管理業務が面倒であるため、できる限りそれらを省略する施策がなされてきた。つまり、当初においては、クレジットカードのインプリントとサインのための3枚綴りの伝票が用いられていたが、クレジットカードに記録された磁気データの読み取りとオンライン照会を行うことなどを条件としてインプリントの省略を可能とした。その後、食品売り場で合計金額が3万円以下であるなどの一定の条件の下でサインの省略も可能とした。したがって、現在においては、クレジットカードの種類、取引内容、支払い条件など、種々の条件に応じて取引時における取り扱いが相違し、サイン又はインプリントの可否が混在した状況となっている。このような現況において、レジにおけるクレジットカードに関連する作業を簡素化し、レジ業務の迅速化によって顧客サービスの一層の向上を図ることが望まれている。

## 【0004】

【従来の技術】従来のレジには、クレジットカードによる取引（支払い）に対応するために、クレジットカード

ドのための磁気カードリーダーと2枚又は3枚綴りのカード専用伝票が備えられている。しかし、上述したように、クレジットカードによる取引きであっても、発行会社、取引き内容、支払い条件などによってはインプリント又はサインが不要であり、カード専用伝票を用いる必要のない場合がある。また、インプリントが不要である条件には合致していても、POSシステムのストアコントローラなどがダウンしてオンライン照会が行えない場合にはインプリントが必要となることもある。

【0005】したがって、レジの担当者は、顧客からクレジットカードの支払い方法を聞いた上で、顧客から提示されたクレジットカードの発行会社、取引き金額、商品などをチェックし、インプリント及びサインの可否を判断し、その判断に応じてカード専用伝票による処理を行っている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来においてはレジにカード専用伝票が備えられ、担当者の判断に応じてカード専用伝票が使用されているので、それだけ伝票の種類が増えることとなり、レジ業務及び伝票の後処理業務が煩雑となっていた。そのため、これがレジ業務の迅速化の障壁となっており、また、カード専用伝票のコストとも相まって人件費及び事務経費の削減の障害となっていた。

【0007】本発明は、上述の問題に鑑みてなされたもので、カード専用伝票を備えることなくクレジットカードのためのインプリント用伝票を発行することを可能とし、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る方法は、商品の取引き金額を算出する取引き金額算出手段と、前記取引き金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを用い、前記取引き金額に対応する金額がクレジットカードによって取引きされる場合に、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって感熱紙に印刷し、印刷された感熱紙を用いてインプリント用伝票を発行する方法である。

【0009】請求項2の発明に係るキャッシュレジスタは、商品の取引き金額を算出する取引き金額算出手段と、前記取引き金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタであって、前記取引き金額に対応する金額がクレジットカードによって取引きされることを指示するクレジットカード取引き指示手段と、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって前記感熱紙に印刷するための印刷制御手段と、を有して構成される。

【0010】請求項3の発明に係るPOSシステムは、

商品の取引き金額を算出する取引き金額算出手段と、前記取引き金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを含んで構成されるPOSシステムであって、前記取引き金額に対応する金額がクレジットカードによって取引きされることを指示するクレジットカード取引き指示手段と、前記クレジットカードによる取引きに際してのインプリントの可否の条件を含むカード取引き条件を格納したカード取引き条件格納手段と、前記カード取引き条件を参照して前記インプリントの可否を判断するインプリント可否判断手段と、前記インプリントが要であると判断された場合に、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって前記感熱紙に印刷するための印刷制御手段と、を有して構成される。

【0011】請求項4の発明に係るPOSシステムは、前記取引き金額に対応する金額がクレジットカードによって取引きされることを指示するクレジットカード取引き指示手段と、前記クレジットカードによる取引きに際してのサインの可否の条件及びインプリントの可否の条件を含むカード取引き条件を格納したカード取引き条件格納手段と、前記カード取引き条件を参照して前記サインの可否を判断するサイン可否判断手段と、前記カード取引き条件を参照して前記インプリントの可否を判断するインプリント可否判断手段と、前記サイン及び前記インプリントが否であると判断された場合には前記レシートを、前記サインが要であり且つ前記インプリントが否であると判断された場合には前記レシートと前記サインのためのフォーマットとを、前記インプリントが要であると判断された場合には前記レシートと前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットとを、それぞれ前記サーマルプリンタによって前記感熱紙に印刷するための制御を行う印刷制御手段と、を有して構成される。

【0012】POSシステムの作用を図を参照して説明する。図2に示すように、取引き金額算出手段である取引き金額算出部41は、スキャナ22又は入力キー23から入力された商品価格に基づいて、商品の取引き金額（売上げ合計金額）、消費税額、釣り金額などを算出する。取引き金額に対応する金額とは、取引き金額自体、又は取引き金額に消費税額や手数料などを加算し又は減算した金額である。

【0013】要否判断部42には、サイン要否判断手段であるサイン要否判断部42a及びインプリント要否判断手段であるインプリント要否判断部42bが設けられている。要否判断部42は、カード条件テーブルTB1を参照し、サインの可否及びインプリントの可否を判断する。

【0014】印刷制御手段である印刷制御部43は、サイン及びインプリントが不要（否）であると判断された

10

20

30

40

50

場合にはレシートRC1を、サインが必要(要)であり且つインプリントが否であると判断された場合にはレシートRC2とサインのためのフォーマットであるサイン票SGを、インプリントが要であると判断された場合にはレシートRC3とインプリントのためのフォーマットであるインプリ票MPを、それぞれサーマルプリンタ25によって感熱紙TPに印刷するための制御を行う。

【0015】インプリ票MPは感熱紙であるため、クレジットカードのエンボスによるインプリントを行った場合に、エンボスに当たった部分の表面が圧力又は温度により変色し、クレジットカードのIDコードなどの番号が感熱紙に複写される。

【0016】

【発明の実施の形態】図1は本発明に係るPOSシステム1の概略の構成を示すブロック図、図2はPOS端末装置11の処理内容を機能的に示すブロック図である。

【0017】POSシステム1は、本発明のキャッシュレジスタに相当する複数のPOS端末装置11、ストアコントローラ12、及びこれらを接続する通信制御装置などから構成されている。

【0018】POS端末装置11には、処理装置21、スキャナ22、入力キー23、磁気カードリーダ24、サーマルプリンタ25、ジャーナルプリンタ26、及び表示装置27が設けられている。スキャナ22は、商品に付されたバーコードを光学的に読み取る。入力キー23は、商品についての情報の入力、現金又はクレジットカードなどの取引方法(決済方法)、クレジットカードによる取引の場合の支払い条件などの入力などに用いられる。入力キー23は、本発明におけるクレジットカード取引指示手段に相当する。但し、磁気カードリーダ24によりクレジットカードのデータを読み取ることによって、クレジットカードによる取引を指示することができる。この場合には磁気カードリーダ24がクレジットカード取引指示手段に相当することとなる。

【0019】磁気カードリーダ24は、クレジットカードの磁気データを読み取る。サーマルプリンタ25は、巻き取り紙である感熱紙TPにレシートRC1~3、サイン票SG、インプリ票MPなどの印刷を行う。ジャーナルプリンタ26は、巻き取り紙に取引データの印刷を行う。表示装置27は、入力された商品価格及び合計金額などを表示する。

【0020】ストアコントローラ12には、カード条件テーブルTB1、図示しない商品マスタファイル、その他種々のファイル又はテーブルが設けられており、また、信用照会処理部31、その他の処理を行う処理部が設けられ、回線を介して信用照会を行うためのCAFI Sセンターに接続されている。また、ストアコントローラ12には図示しない入力キー及び表示装置などが接続されている。カード条件テーブルTB1は、クレジット

カードによる取引に際してのサインの要否の条件及びインプリントの要否の条件などを格納したテーブルであり、POSシステム1を起動した際にストアコントローラ12からPOS端末装置11にダウンロードされる。

【0021】図2において、POS端末装置11には、取引金額算出部41、要否判断部42、及び印刷制御部43が設けられている。要否判断部42には、サイン要否判断部42a及びインプリント要否判断部42bが設けられている。なお、処理装置21には本発明におけるカード取引条件格納手段としてのメモリ21aが設けられており、そのメモリ21aにはカード条件テーブルTB1がストアコントローラ12からダウンロードされて格納されている。またメモリ21aには、取引データが一時的に格納され、適当な時期にストアコントローラ12に転送される。ストアコントローラ12では、取引データを一定の期間毎にクレジットカードの発行者にオンラインで送信し、又は磁気テープに格納して送る。

【0022】取引金額算出部41は、スキャナ22又は入力キー23から入力された商品価格に基づいて、商品の取引金額(売上げ合計金額)、消費税額、釣り金額などを算出する。要否判断部42は、カード条件テーブルTB1を参照し、サインの要否及びインプリントの要否を判断する。印刷制御部43は、サイン及びインプリントが不要(否)であると判断された場合にはレシートRC1を、サインが必要(要)であり且つインプリントが否であると判断された場合にはレシートRC2とサイン票SGを、インプリントが要であると判断された場合にはレシートRC3とインプリ票MPを、それぞれサーマルプリンタ25によって感熱紙TPに印刷するための制御を行う。また、取引データはメモリ21aに格納される。

【0023】図3はカード条件テーブルTB1の内容の例を示す図である。図3において、カード条件テーブルTB1は、発行者コードCDS、支払い条件CTP、特定条件CTS、サインレスフラグFGS、及びインプリ条件CTMなどからなる。

【0024】発行者コードCDSは、クレジットカードの発行者を識別するコードである。支払い条件CTPは、一括払い、分割払い、ボーナス併用払い、リボルビング払いなどの支払い方法を示す。特定条件CTSは、対象となる商品及び合計金額条件などを示す。

【0025】サインレスフラグFGSは、サインの要否を示し、「○」が記録されていれば支払い条件CTP及び特定条件CTSが満たされた場合にサインが不要であり、「×」が記録されていればサインが常に必要である。図3の例では、発行者コードCDSが「3540」で支払い条件CTPが「一括」の場合において、商品が「食品」であって且つ合計金額SUMが「30000円以下」であれば、サインは不要である。但し、インプリ

ントが必要な場合にはインプリ票MPへのサインが必要である。また、発行者コードCDSが「3544」で支払い条件CTPが「一括」の場合には、サインは不要である。発行者コードCDSが「3543」の場合には、常にサインが必要である。

【0026】インプリ条件CTMは、インプリントの要否を示し、「○」が記録されていれば支払い条件CTP及び特定条件CTSが満たされた場合にインプリントが不要であり、「×」が記録されていればインプリントが常に必要である。「オンライン」と記録されていれば、支払い条件CTP及び特定条件CTSが満たされ、且つクレジットカードのオンライン照会を行うこと条件としてインプリントが不要である。例えば、発行者コードCDSが「3540」で支払い条件CTPが「一括」の場合において、商品が「食品」であって且つ合計金額SUMが「30000円以下」であり、オンライン照会を行うのであれば、インプリントは不要である。発行者コードCDSが「3543」の場合には、常にインプリントが必要である。なお、インプリントが必要な場合には常にサインも必要である。

【0027】図4はレシートRC1の内容の例を示す図、図5はレシートRC2及びサイン票SGの内容の例を示す図、図6はレシートRC3及びインプリ票MPの内容の例を示す図である。レシートRC1～3、サイン票SG、及びインプリ票MPは、いずれも感熱紙TPに印刷されたものである。

【0028】図4において、レシートRC1には、取引日時、商品名、商品金額、支払い条件、合計金額SUM、カードの発行者、カードの番号などが印刷され、最下段にはサインが不要である旨が印刷されている。このレシートRC1は、顧客に手渡される。

【0029】図5(A)において、レシートRC2には、レシートRC1と同じ内容が印刷されている。但し、サインが必要であるので、レシートRC1のようにサインが不要である旨の記入はない。図5(B)において、サイン票SGには、クレジットカードによる取引である旨、請求金額、商品名、カードの発行者、カードの番号、支払い条件、サイン欄SSGが印刷されている。レシートRC2は顧客に手渡され、サイン票SGはサイン欄SSGに顧客によってサインがなされた上、店の控えとなる。

【0030】図6(A)において、レシートRC3には、レシートRC2と同じ内容が印刷されている。図6(B)において、インプリ票MPには、クレジットカードによるインプリントを行うためのインプリ欄SMP、及びサイン票SGと同じ内容が印刷されている。レシートRC3は顧客に手渡され、インプリ票MPは、顧客の提示するクレジットカードによってインプリ欄SMPにインプリントがなされ、サイン欄SSGに顧客によってサインがなされた上、店の控えとなる。インプリ票MP

は感熱紙TPであるため、クレジットカードのエンボスによるインプリントを行った場合に、エンボスに当たった部分の表面が圧力又は温度により変色し、クレジットカードの番号などが鮮明に複写される。

【0031】なお、サイン票SG及びインプリ票MPは、店において保管され、クレジットカードの発行者からの依頼に応じて提出される。次に、POS端末装置11における操作及び処理について、フローチャートを参照して説明する。

10 【0032】図7はPOS端末装置11における操作及び処理の流れを示すフローチャートである。図7において、まず、顧客の購入する商品について、スキャナ22又は入力キー23からデータを入力する(#11)。顧客のクレジットカードを磁気カードリーダ24によって読み取る(#12)。読み取ったデータに基づいて発行者コードCDSを識別し、カード条件テーブルTB1に登録されているか否かを判定する(#13)。顧客から聞いて入力した支払い条件について、カード条件テーブルTB1に登録されているか否かを判定する(#14)。読み取ったカード番号について、CAFISセン

20 ターに信用照会を行う(#15)。これによって事故カードであることが判明した場合には、その旨を表示して即座に処理を中止する。事故カードでない場合に、カード条件テーブルTB1を参照してサインの要否及びインプリントの要否を判定する(#16)。

【0033】インプリントが必要である場合には(#17でイエス)、レシートRC3及びインプリ票MPを印刷し(#18)、インプリ票MPにインプリントを行い(#19)、それに顧客のサインを貰う(#20)。インプリントが不要でサインが必要な場合には(#21で

30 イエス)、レシートRC2及びサイン票SGを印刷し(#22)、サイン票SGに顧客のサインを貰う(#23)。インプリントもサインも不要の場合には(#21でノー)、レシートRC1のみを印刷する(#24)。

【0034】上述のように、レシートRC1～3のみならず、サイン票SG及びインプリ票MPをもサーマルプリンタ25によって印刷するので、従来のようなカード専用伝票を備えておく必要がない。したがって、カード専用伝票のための製作費用及び保管場所が不要であり、

40 クレジットカードによる取引の場合にカード専用伝票を探し回る必要がない。また、インプリ票MP及びその印刷には、レシートRC1～3の印刷に用いる感熱紙TP及びサーマルプリンタ25を兼用で用いており、他の特別な用紙及びプリンタを用いる必要がないので、POS端末装置11の構成が複雑になることがなく、感熱紙TPの補給などのメンテナンスも容易であり、大幅なコストアップも生じない。

【0035】POSシステム1にはカード条件テーブルTB1が設けられており、サイン及びインプリントの要否がカード条件テーブルTB1を参照して自動的に判断

されるので、レジの担当者がインプリントなどを必要とする場合の条件を覚えておく必要がなく、担当者の負担が軽減されてレジ業務の迅速化が図られる。さらに、カード条件テーブルTB1にはそのような条件をきめ細かく記録しておくことができるので、サイン票SG又はインプリ票MPの不要な場合を洩れなく判定することができ、担当者が判断する場合と比較してサイン票SG又はインプリ票MPの枚数が低減し、後方業務である伝票の仕分け業務の低減が図られる。しかも、サイン及びインプリントの要否が、レシートRC1~3、サイン票SG、又はインプリ票MPに明記されているので、担当者はサーマルプリンタ25から出力される感熱紙TPの記載内容に沿って作業を行うだけでよく、作業の簡素化及び平準化が図られる。

【0036】したがって、POSシステム1によると、カード専用伝票を備えることなくクレジットカードのためのインプリント用伝票を発行することができ、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることができる。その上、レジ業務の迅速化によってチェックアウト時間が短縮され、顧客へのサービスの向上が図られる。

【0037】上述の実施形態において、レシートRC2とサイン票SG、レシートRC3とインプリ票MPとは、それぞれサーマルプリンタ25によって切り離されているが、サーマルプリンタ25によってミシン目を入れ、担当者が切り離すようにしてもよい。サーマルプリンタ25として複数のプリンタユニットを備えておき、一方をレシートの印刷用とし他方をインプリ票MPの印刷用としてもよい。その場合に感熱紙の幅寸法を異ならせておいてもよい。上述の実施形態ではPOSシステム1に適用したが、キャッシュレジスタ単体について適用することもできる。カード条件テーブルTB1、レシートRC1~3、サイン票SG、インプリ票MPなどの内容、構成、又はPOS端末装置11、コントローラ12、POSシステム1などの構成、処理又は操作の手順などは、本発明の主旨に沿って適宜変更することができる。

#### 【0038】

【発明の効果】請求項1乃至請求項4の発明によると、カード専用伝票を備えることなくクレジットカードのためのインプリント用伝票を発行することができ、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることができる。

【0039】請求項3及び請求項4の発明によると、カード取引条件に基づいてインプリントの要否が自動的

に判断されるので、レジ担当者の負担が軽減されてレジ業務の迅速化が図られ、しかも、インプリントの不要な場合を洩れなく判断することができるのでインプリントされた伝票の枚数が低減し、伝票の仕分け業務の低減が図られる。

【0040】請求項4の発明によると、サインは必要であるがインプリントは不要である場合に、インプリント用の欄のないサインのみのフォーマットを印刷するので、感熱紙の無駄な消費を抑えることができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るPOSシステムの概略の構成を示すブロック図である。

【図2】POS端末装置の処理内容を機能的に示すブロック図である。

【図3】カード条件テーブルの内容の例を示す図である。

【図4】レシートの内容の例を示す図である。

【図5】レシート及びサイン票の内容の例を示す図である。

20 【図6】レシート及びインプリ票の内容の例を示す図である。

【図7】POS端末装置における操作及び処理の流れを示すフローチャートである。

#### 【符号の説明】

1 POSシステム

11 POS端末装置（キャッシュレジスタ）

21a メモリ（カード取引条件格納手段）

23 入力キー（クレジットカード取引指示手段）

24 磁気カードリーダー（クレジットカード取引指示手段）

25 サーマルプリンタ

41 取引金額算出部（取引金額算出手段）

42a サイン要否判断部（サイン要否判断手段）

42b インプリント要否判断部（インプリント要否判断手段）

43 印刷制御部（印刷制御手段）

TP 感熱紙

TB1 カード条件テーブル（カード取引条件格納手段）

40 RC1~3 レシート

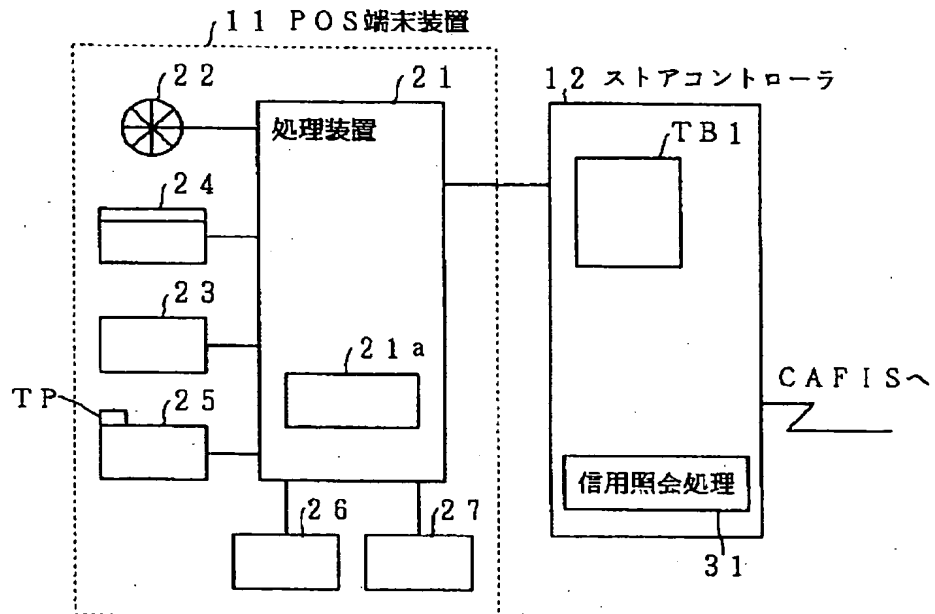
SG サイン票（サインのためのフォーマット）

MP インプリ票（インプリントのためのフォーマット）

【図1】

本発明に係るPOSシステムの概略の構成を示すブロック図

1 POSシステム



【図4】

レシートの内容の例を示す図

RC1

まいどありがとうございます

95.09.02 15:12 1001

紳士服 1 50.000 — SUM

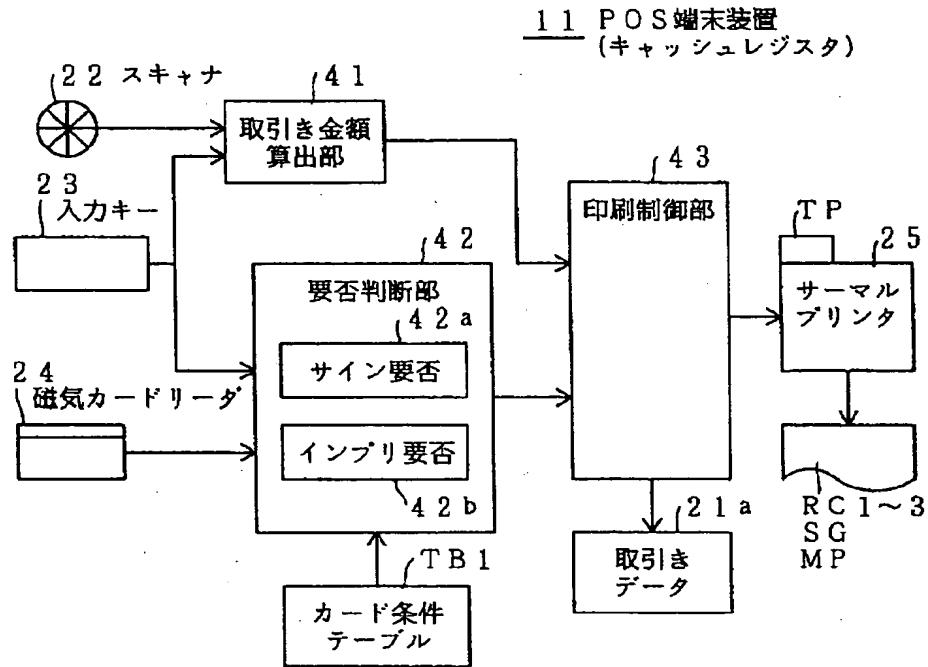
一括 合計 50.000

JCB 394012345678901

署名は省略させていただきます

【図2】

POS端末装置の処理内容を機能的に示すブロック図



【図3】

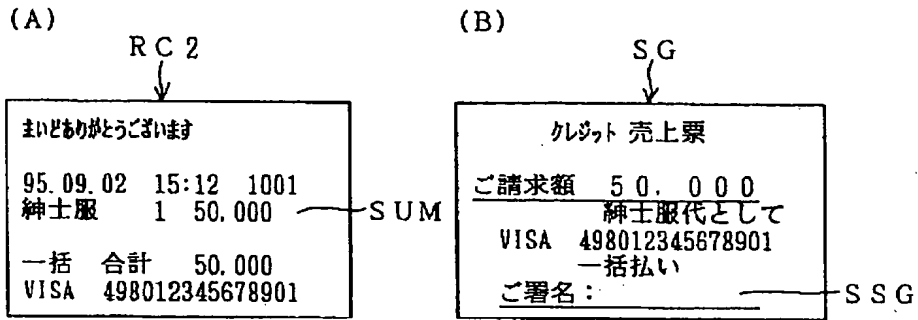
カード条件テーブルの内容の例を示す図

TB1 カード条件テーブル

CDS	CTP	CTS		FGS	CTM
発行者コード	支払い条件	商品	707リミット	サイレンスフラグ	インブリ条件
3540	一括	食品	3万円以下	○	オンライン
3540	ボーナス併用			×	オンライン
3541				×	オンライン
3542	一括			○	オンライン
3542	ボーナス併用			×	×
3543				×	×
3544	一括			○	○

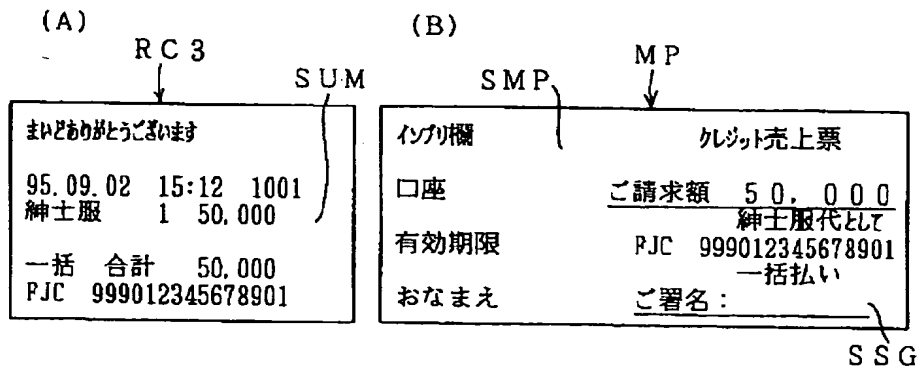
【図5】

レシート及びサイン票の内容の例を示す図



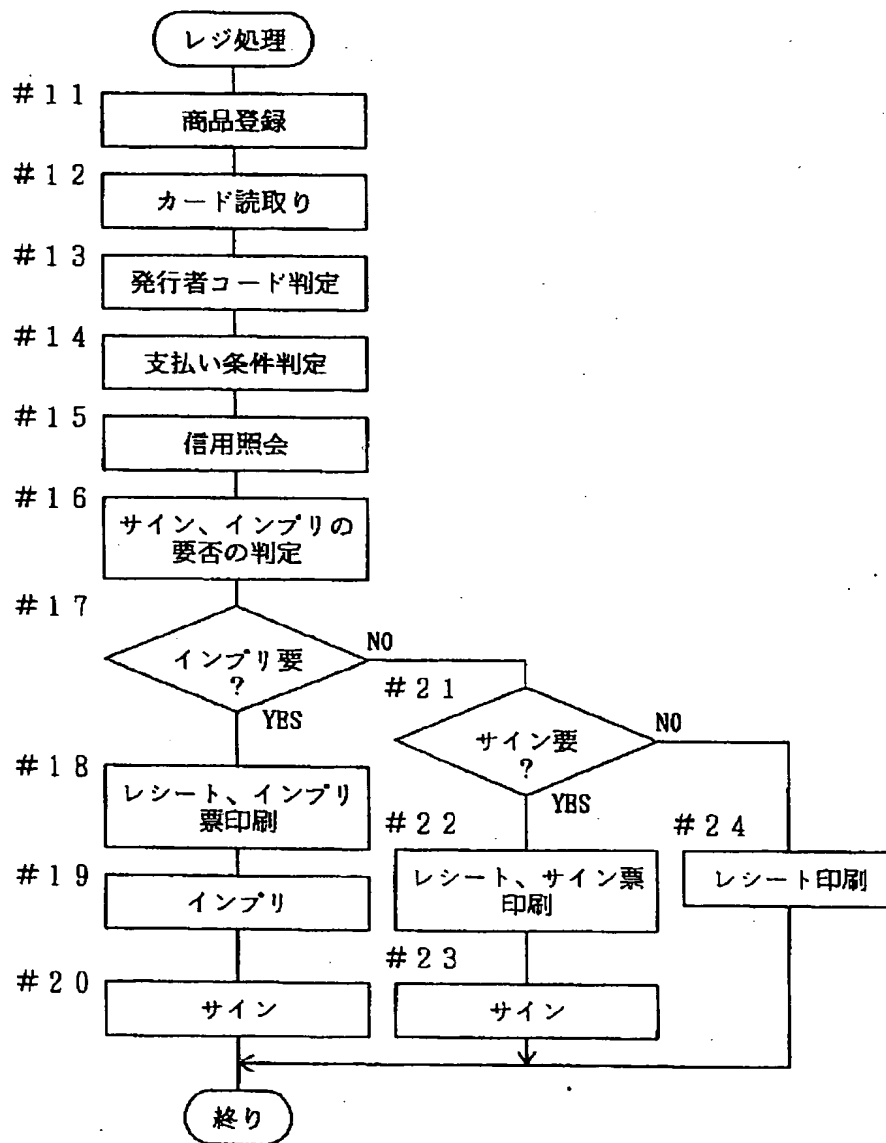
【図6】

レシート及びインプリ票の内容の例を示す図



【図7】

POS 端末装置における操作及び処理の流れを示すフローチャート



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成13年2月16日(2001. 2. 16)

【公開番号】特開平9-259360  
【公開日】平成9年10月3日(1997. 10. 3)  
【年通号数】公開特許公報9-2594  
【出願番号】特願平8-63404  
【国際特許分類第7版】  
G07G 1/12 351  
【FI】  
G07G 1/12 351 Z

【手続補正書】  
【提出日】平成11年6月4日(1999. 6. 4)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】発明の名称  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【発明の名称】 クレジットカード取引用伝票の発行方法及びPOSシステム  
【手続補正2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】請求項1  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【請求項1】商品の取引金額を算出する取引金額算出手段と、前記取引金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを用い、前記取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引される場合に、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって感熱紙に印刷し、印刷された感熱紙を用いてクレジットカード取引用伝票を発行する、ことを特徴とするクレジットカード取引用伝票の発行方法。

【手続補正3】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0001  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【0001】  
【発明の属する技術分野】本発明は、百貨店、スーパーマーケット、チェーンストア、小売店などにおいて利用されるクレジットカード取引用伝票の発行方法、キャッシュレジスタ、及びPOSシステムに関する。

【手続補正4】  
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【0007】本発明は、上述の問題に鑑みてなされたもので、カード専用伝票を備えることなくクレジットカード取引用伝票を発行することを可能とし、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることを目的とする。

【手続補正5】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0008  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【0008】  
【課題を解決するための手段】請求項1の発明に係る方法は、商品の取引金額を算出する取引金額算出手段と、前記取引金額に対応する金額のレシートを感熱紙に印刷するサーマルプリンタとを備えたキャッシュレジスタを用い、前記取引金額に対応する金額がクレジットカードによって取引される場合に、前記クレジットカードのインプリントのためのフォーマットを前記サーマルプリンタによって感熱紙に印刷し、印刷された感熱紙を用いてクレジットカード取引用伝票を発行する方法である。

【手続補正6】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0026  
【補正方法】変更  
【補正内容】  
【0026】インプリ条件CTMは、インプリントの要否を示し、「○」が記録されていれば支払い条件CTP及び特定条件CTSが満たされた場合にインプリントが不要であり、「×」が記録されていればインプリントが常に必要である。「オンライン」と記録されていれば、支払い条件CTP及び特定条件CTSが満たされ、且つクレジットカードのオンライン照会を行うこと条件としてインプリントが不要である。この際、オンライン照会

が行えなかった場合は、インプリントが必要と判断される。例えば、発行者コードCDSが「3540」で支払い条件CTPが「一括」の場合において、商品が「食品」であって且つ合計金額SUMが「30000円以下」であり、オンライン照会を行うのであれば、インプリントは不要である。発行者コードCDSが「3543」の場合には、常にインプリントが必要である。なお、インプリントが必要な場合には常にサインも必要である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正内容】

【0036】したがって、POSシステム1によると、

カード専用伝票を備えることなくクレジットカード取引用伝票を発行することができ、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることができる。その上、レジ業務の迅速化によってチェックアウト時間が短縮され、顧客へのサービスの向上が図られる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正内容】

【0038】

【発明の効果】請求項1乃至請求項4の発明によると、カード専用伝票を備えることなくクレジットカード取引用伝票を発行することができ、レジ業務の簡素化及び事務経費の削減を図ることができる。